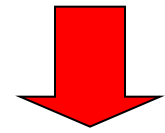


## なぜ洋楽と邦楽が違って聞こえるのか。日本独特のリズムのルーツとは



### 音楽のルーツは？

その国のルーツである、その国の**民族音楽**が今にも影響しているのではないか。

### 民族音楽はどうやって生まれるか。

民族音楽のルーツは、その国の**生活スタイル**に関係していて、生活スタイルが違えば、生まれる音楽も違う、生活スタイルを調べれば違いを生むルーツがわかるのでなはないかと考えた。

### 音楽は生活スタイルに関係している。

	リズム感	楽器	音の使い方	音楽の位置付け	長さ
定住型	独特のリズム、無拍	大型（太鼓など）	単音	元々演劇、ショーなど観るもの	短い
移動型	裏拍、無拍	小型（持ち運びしやすいもの）	和音	みんなで楽しむもの	長い

### じゃあ、日本は？

日本は定住型民族。上記の項目は当てはまる。定住型民族故の独特な日本のリズム（表拍）が現代の日本の音楽にも色濃く残っている。

ズバリ日本語。日本語はすべて表拍子で、日本人は表拍を感じながら生活している。

### 実験

美しいとはっきり発音すると、リズムとしてはダダダダとなることがわかる。では英語で Beautiful とはっきり発音するとリズムとしてはダーダダーとなる。英語はダー、ウン、ダ、ダーと表拍と裏拍を感じながら発音している。日本人は洋楽にのれていない、と言われてたり、日本人はリズム感がないといわれたりする原因はまさにこの表拍だった。

### 日本人独特の表拍に劣等感を感じる必要はない

邦楽と洋楽の違いはほかにもたくさんあるが、この拍の感じ方にルーツがあることが分かった。これを聞いた洋楽ファンたちは日本のテンポの悪い音楽なんてと思うかもしれないが、それは間違っていると私は思う。もちろんこの裏拍の原理を知ったからには洋楽を聴くときに、裏拍を感じながら洋楽を楽しんでほしい。よりテンポを感じられ、本当の洋楽を堪能することができる。しかし、日本の民謡を裏拍に変え歌えばいいのか、校歌で裏拍を感じながら歌えばいいのか。それは間違っている。世界情勢の関係で、各国の音楽はどこも欧米ナイズされている中、日本の音楽シーンはかなり独特と言われている。そんな状況に、日本の音楽シーンは遅れているととらえるか、日本の音楽シーンは独創的で素晴らしいととらえるのかにかかっていると思う。実際に、世界的に成功を取めた日本人アーティストはみんな独創性や、新しさ、新鮮さ、固有のもの、すなわち個性で世界的に認められている。私も上記の劣等感をもってしたが、研究を通して感じたことは、ズバリ個性の大切さだった。日本の音楽シーンがただの真似ごとにならないためにも、個性より前に出すことが大切と感じた。